

# NewFace

think-cellは2002年、ドイツ・ベルリンでアルノとマルカスによって創設された。アルノは、コンピュータグラフィックス博士課程在籍中に、コンピュータサイエンス界最高峰の研究所マイクロソフトリサーチと世界トップコンサルティング企業マッキンゼーで働いた経験から、ビジネススライド作成に莫大な時間が費やされている課題に気付いた。これを世界規模で見ると大きな損失だと感じ、自身が使いたくなるような「美しい資料やグラフを高速で作成できるツールを」という思いで、旧友の人工知能研究者マルカスとthink-cellの開発・創業に至った。



インストール後  
パワポメニューに追加される  
think-cellの機能ボタン



think-cellを使用したグラフ例：高速でデータを可視化できるだけでなく、データに解釈を加えることもできる

## think-cell

think-cell Japan株式会社

- 資本金：3,000万円
- 設立：2022年6月
- 従業員数：7人(2024年8月1日現在 ※契約社員を含む)
- 本社所在地：〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 丸の内二重橋ビル2階
- 事業内容：PowerPointの図表効率化ソフトウェアの開発・提供
- U R L : <https://www.think-cell.com/ja/>

賞を受賞したのち大手コンサルティング会社のドイツ支店が最初の顧客となり、その後も同業界を中心に広がる。また、コンサルティング企業のクライアントもコンサルタントのベストプラクティスを取り入れたい、と利用が拡大した。自社の販売ウェブサイトグローバル対応化し、現在では11カ国(英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、中国語、アラビア語、ロシア語、日本語、韓国語)に対応。2024年時点で有償ユーザーは110万を超え、2万5千社以上の企業に利用されている。think-cell Japanは2022年6月に設立され、think-cellの日本人として、ソフトウェアの販売、コンサルティング、サポートを行っている。

## MESSAGE

効率的な資料作成を通じて  
労働生産性向上に貢献

日本法人社長  
松塚展国  
まつつかのぶくに



当社は、日本法人設立から2周年を迎えました。国内での利用企業数も100社を超え、お客さまやパートナー企業をはじめとする皆さまのご支援のおかげと厚くお礼申し上げます。一方で、ビジネス資料作成の効率化に対する需要の高さを改めて実感しており、日本の労働生産性向上という社会課題解決に向けて、データを軸にした効率的な資料作成とプレゼンテーションを通じた支援をより加速できるよう尽力してまいります。また、日本はアジアではじめての拠点であり、今後は本拠点をもとにアジア展開を進めていく予定です。日本からアジアへ、データに基づくコミュニケーションの浸透やデータドリブンな組織への進化へ、より一層貢献していきます。